

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	特進(文)	選択形態	選択	科目	国語表現	単位	3	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を豊富にすることによって、思考能力を伸ばしながら言語感覚を磨き、表現する能力を身に付ける。 ・文章の構造を知り、論理的に読めることで、論理的に書ける・話せるようになることを理解する。 ・伝え合う力を高めるとともに、自らの気持ちを的確に表現することによって、円滑なコミュニケーションを取れるようになる。 									
使用教科書	国語表現(大修館)	副教材	論理エンジンシリーズ・朝日新聞時事ワークシート			予定時間数	105			
単元と内容										
1学期	オリエンテーション									
	・表現の基礎		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい文章とはどういうものかを知る。 ・分かりやすい文章を書くためには、論理を意識していくことを学ぶ。 ・論理的な文を、きちんと理解できるようにする。 ・論理的な文章を書くための基礎(一文の構造や接続語)を学ぶ。 ・分かりにくい文章の欠点を直し、意味の通る文章を書けるようにする。 ・表現技法と効果について学ぶ。 ・表現と論理を意識した文章を書く姿勢を身に付ける。 ・日常会話について考え、コミュニケーション能力の向上を図る。 							
2学期	・表現の実践		<ul style="list-style-type: none"> ・多くの文章に触れ、論理力の向上をさせる。 							
			<ul style="list-style-type: none"> ・時事的な文章を読み、時事ニュースに関する基礎知識を習得する。 ・時事問題に関して自分の考えを持つ。 ・時事的な問題を使用し、小論文を書けるようにする。 ・進路に必要な志望理由の材料をまとめ始める。 							
3学期	・表現の探究		<ul style="list-style-type: none"> ・より分かりやすい表現とは何かを考えさせる。 ・大学入試に必要な志望理由書作成と小論文の練習をする ・書くだけでなく、筋道立てて話ができるようにさせる。 ・大学入試に必要なプレゼンテーションの練習をする。 							
評価										
評価の観点			評価の趣旨			評価対象				
						1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能		表現と理解に役立てるため、漢字・語句・表現技法などの知識を身に付けている。			○	○	○		
②	思考力・判断力・表現力		論理的に文章を読み取り、自分の考えをまとめたり深めたりしている。筋道立てて話したり、的確に聞いたりしている。			○	○	○		
③	主体的に学びに向かう態度		表現に対する関心を深め、自ら表現するとともに伝え合おうとする。			○	○	○		
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度				
	定期考査	60%	定期考査			60%	口頭試問			50%
	レポート	10%	口頭試問			20%	各種発表・まとめ			50%
	相互評価	10%	各種発表・まとめ			20%				
	各種提出	20%								

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	特進(文)	選択形態	必修	科目	論理国語	単位	4
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文、随想の文章を通して要約・論理的読解の力を養う。様々な文章を通して時代・社会背景や作者の主張を理解する。問題演習に取り組み、入試の基礎力を身に付ける。 ・言語理解や想像力を育むことに努め、論理的な読解力や思考力を身に付ける。 								
使用教科書	論理国語(数研出版)	副教材	論理エンジンシリーズ・現代文読解基礎ドリル				予定時間数	140	
単元と内容									
1学期	オリエンテーション								
	評論 論理エンジン	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の論理的読解方法を確認し、筆者の考えを理解する。 ・一文や文章の構造を知り、論的な読解を実践していく。 ・解答の根拠を説明できる力を身に付ける。 ・記述の基本的事項を身に付ける。 							
2学期	評論 論理エンジン 現代文読解基礎ドリル	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な評論文を読み、論理構造や筆者の主張を読み取る。その際、問題演習にも取り組み、解答力を向上させる。 ・文章の構造や記述の力を身に付ける。 <p>文章を読み、要点を押さえてまとめる練習をする。演習形式の授業で入試突破力の基礎を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時事問題の基礎知識を習得し、自身の意見をまとめ、文章にまとめていく。小論文を書ききる。 							
3学期	評論文 論理エンジン 現代文読解基礎ドリル	<p>評論文の読解方法を確認し、文章構造から筆者の主張を読み取る。主張に迫る読解方法を身に付ける。</p> <p>演習問題を通して、解答力を向上させる。</p>							
評価									
評価の観点			評価の趣旨				評価対象		
							1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能		国語の伝統的な文化や語句に触れ、意味や用法を的確に理解することができた。				○	○	○
②	思考力・判断力・表現力		様々な文章に触れて、論理的な思考力を身に付けることができた。				○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度		興味関心を広げるために積極的に読書活動を行い、自己の問題と関連付けて捉えることができる。				○	○	○
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力				③ 主体的に学びに向かう態度		
	定期考査	60%	定期考査 60%				口頭試問 50%		
	レポート	10%	口頭試問 20%				各種発表・まとめ 50%		
	相互評価	10%	各種発表・まとめ 20%						
	各種提出	20%							

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	特進(文系)	選択			古典探究	単位	3
学習目標	<p>・文語の決まり(歴史的仮名遣い、用言、助動詞の活用、係り結び、敬語、和歌、識別など)を理解し、覚える。</p> <p>・訓読の決まり(訓点、書き下し文、各種句法、重要語)を理解し、漢文の構造を把握する。 ・古典に親しむことにより、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育み、ものの見方や考え方を広げる。</p> <p>・古典知識をしっかりと習得し、模擬試験などでの得点力を養い、大学入試に対する実力がつくようにする。</p>								
使用教科書	古典探究(数研出版)	副教材	体系古典文法・体系漢文(数研出版)				予定時間数	105	
単元と内容									
1学期	オリエンテーション								
	<p>[古文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本文法の確認、補足 助詞の意味 <p>[漢文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 句法、重要語句 <p>[古文・漢文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の読解(説話・物語・故事成語・寓話) 		<ul style="list-style-type: none"> 古文においては用言の活用はすべての基本となるので確認し、。そのうえで助動詞の活用もすべて覚えていく。 重要な助詞の意味を覚えていく。 書き下し文と音読徹底し、基本句形と重要語句を覚えていく。・古典作品に親しむと同時に、あくまでも大学入試を想定して各作品を読解する。 文法問題や句法なども作品の中で確認し、解答力を高める。 						
2学期	<p>[古文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語 敬語と和歌、読解問題の演習 <p>[漢文]</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代の史話・漢詩・伝奇など 句法、読解問題の演習 <p>模擬試験問題演習</p>		<ul style="list-style-type: none"> 入試にもよく採用される作品を通して、読解力・解答力を身に付ける。・敬語と和歌を学び、作品を深く読めるようにするとともに入試対策も行う。 少し長めの文章を書き下し文にし、大意をつかめるようにする。・重要句法の知識を増やしていき、本文読解や解答力につなげる。 私立大学一般入試へ向けた応用力を育成する。 						
3学期	<p>[古典]</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習 紛らわしい語の識別、句法のまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> 私立大学一般入試へ向けた応用力を育成する。(現代語訳、人物の心情読解、歴史的背景など) 基礎知識の定着度を確認する。 						
評価									
評価の観点			評価の趣旨				評価対象		
							1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能		書き下し文や古典品詞分解などを正確に書くことができる。				○	○	○
			古典の読解に役立てるため、古典文法や古典常識、単語などの知識を身に付けている。						
②	思考力・判断力・表現力		論理的に文章を読み取り、自分ものの見方や考え方を深めたりしている。				○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度		古典に対する関心を深め、自ら知識を習得し古典に親しもうとする。				○	○	○
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力				③ 主体的に学びに向かう態度		
	定期考査 80 %		定期考査 80%				口頭試問 100%		
	相互評価 10%		各種発表・まとめ 20%						
	各種提出 10%								

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	特進(理)	選択形態	必修	科目	国語表現	単位	3
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を豊富にすることによって、思考能力を伸ばしながら言語感覚を磨き、表現する能力を身に付ける。 ・文章の構造を知り、論理的に読めることで、論理的に書ける・話せるようになることを理解する。 ・伝え合う力を高めるとともに、自らの気持ちを的確に表現することによって、円滑なコミュニケーションを取れるようになる。 								
使用教科書	国語表現(大修館)	副教材	論理エンジンシリーズ・朝日新聞時事ワークシート			予定時間数	105		
単元と内容									
1学期	オリエンテーション								
	・表現の基礎		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい文章とはどういうものかを知る。 ・分かりやすい文章を書くためには、論理を意識していくことを学ぶ。 ・論理的な文を、きちんと理解できるようにする。 ・論理的な文章を書くための基礎(一文の構造や接続語)を学ぶ。 ・分かりにくい文章の欠点を直し、意味の通る文章を書けるようにする。 ・表現技法と効果について学ぶ。 ・表現と論理を意識した文章を書く姿勢を身に付ける。 ・日常会話について考え、コミュニケーション能力の向上を図る。 						
2学期	・表現の実践		<ul style="list-style-type: none"> ・多くの文章に触れ、論理力の向上をさせる。 						
			<ul style="list-style-type: none"> ・時事的な文章を読み、時事ニュースに関する基礎知識を習得する。 ・時事問題に関して自分の考えを持つ。 ・時事的な問題を使用し、小論文を書けるようにする。 ・進路に必要な志望理由の材料をまとめ始める。 						
3学期	・表現の探究		<ul style="list-style-type: none"> ・より分かりやすい表現とは何かを考えさせる。 ・書くだけでなく、筋道立てて話ができるようにさせる。 						
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	表現と理解に役立てるため、漢字・語句・表現技法などの知識を身に付けている。				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	論理的に文章を読み取り、自分の考えをまとめたり深めたりしている。筋道立てて話したり、的確に聞いたりしている。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	表現に対する関心を深め、自ら表現するとともに伝え合おうとする。				○	○	○	
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度			
	定期考査	60%	定期考査	60%		口頭試問 50%			
	レポート	10%	口頭試問	20%		各種発表・まとめ 50%			
	相互評価	10%	各種発表・まとめ 20%						
	各種提出	20%							

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	特進(理)	選択形態	必修	科目	論理国語	単位	3
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文、随想の文章を通して要約・論理的読解の力を養う。様々な文章を通して時代・社会背景や作者の主張を理解する。問題演習に取り組み、入試の基礎力を身に付ける。 ・言語理解や想像力を育むことに努め、論理的な読解力や思考力を身に付ける。 								
使用教科書	論理国語(数研出版)	副教材	論理エンジンシリーズ・現代文読解基礎ドリル				予定時間数	105	
単元と内容									
1学期	オリエンテーション								
	評論 論理エンジン	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の論理的読解方法を確認し、筆者の考えを理解する。 ・一文や文章の構造を知り、論的な読解を実践していく。 ・解答の根拠を説明できる力を身に付ける。 ・記述の基本的事項を身に付ける。 							
2学期	評論 論理エンジン 現代文読解基礎ドリル	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な評論文を読み、論理構造や筆者の主張を読み取る。その際、問題演習にも取り組み、解答力を向上させる。 ・文章の構造や記述の力を身に付ける。 <p>文章を読み、要点を押さえてまとめる練習をする。演習形式の授業で入試突破力の基礎を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時事問題の基礎知識を習得し、自身の意見をまとめ、文章にまとめていく。小論文を書ききる。 							
3学期	評論文 論理エンジン 現代文読解基礎ドリル	<p>評論文の読解方法を確認し、文章構造から筆者の主張を読み取る。主張に迫る読解方法を身に付ける。</p> <p>演習問題を通して、解答力を向上させる。</p>							
評価									
評価の観点			評価の趣旨				評価対象		
							1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能		国語の伝統的な文化や語句に触れ、意味や用法を的確に理解することができた。				○	○	○
②	思考力・判断力・表現力		様々な文章に触れて、論理的な思考力を身に付けることができた。				○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度		興味関心を広げるために積極的に読書活動を行い、自己の問題と関連付けて捉えることができる。				○	○	○
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力				③ 主体的に学びに向かう態度		
	定期考査	60%	定期考査 60%				口頭試問 50%		
	レポート	10%	口頭試問 20%				各種発表・まとめ 50%		
	相互評価	10%	各種発表・まとめ 20%						
	各種提出	20%							